

㊤ 公団大島六丁目団地自治会

みんなの会報

明るい団地は

あいさつから

発行 公団大島六丁目団地自治会
編集 広報部・事務局
自治会事務所:13時～17時(金・日・祝日休)
TEL:(3636)6470 FAX:(3636)6479
ホームページ:http://www.6-dan.com



2年ぶりのバスツアー

3月25日(日)2年ぶりの年度末行事のバスツアーが行われ昨年は震災の影響で混乱を避けるために中止し、義援金に回しました。参加者は48名でした。今回はバス1台で皆さんとよくコミュニケーションが取れたと好評でした。

この日は朝から晴天で早朝にも関わらず皆さん遅れることなく順調にスタート。

行きは京葉道路、館山道経由で一路、白浜へ。花摘みを楽しんだ後、花畑を眺めながら足湯に浸かりゆったり。お腹が減って



3月8日、NHKのニュースで報道をご覧になった方もいると思いますが、当自治会は江東区と安全安心協定を締結いたしました。

この協定は都市機構と江東区が結んだ「水害時の一時避難先使用に関する安心協定」に大島六丁目団地自治会、大島四丁目団地自治会、北砂五丁目団地自治会が協力をするものです。

昨年起きた東日本大震災の時、多くの方が津波の犠牲になり、今後、東京でも大きな津波が予想されています。大島地区は海面からマインス2メートル以上低い地域もあります。近辺に高台や大きな公共の建物も少なく、大規模水害が起きた時の一時避難先がありません。

六丁目団地の居住者が「安心して住み続けられる」環境が地域の安定、安心にも役立ちます。全ての居住者の皆さんと協力して公共住宅を守りましょう！

江東区と津波協定の締結

大島六丁目団地内放射能測定結果

測定日:24年2月22日 午後1時30分～4時
測定者:東京東住宅管理センター

単位:マイクロシーベルト/時

	測定場所	100cm	50cm	5cm
1	松坂屋前広場中央	0.10	0.10	0.11
2	3・4号棟間砂場	0.10	0.09	0.10
3	中央広場フェンス植込み	0.14	0.16	0.19
4	プリン山ベンチ前	0.11	0.10	0.11
5	5・6号棟前植込み	0.14	0.15	0.17



※政府の発表は、0.23マイクロシーベルト以上で除染することになっていますが、それを下回っています。

リサイクル還元品のお知らせ

いつもリサイクル活動(古紙回収)へのご協力有難うございます。
還元品は再生紙でのティッシュペーパーとトイレトペーパーです。4月1日(日)・8日(日)に配布いたしました。4月9日からは3号棟自治会事務所にて配布しています。(金・日を除く午後1時～5時)
★配布締め切り:4月25日(水)

区議会から公共住宅として継続するよう求める意見書が提出される

3月29日の本会議で意見書提出が決定しました。

都市再生機構賃貸住宅を公共住宅として継続し、居住者の居住の安定を求める意見書

江東区には、29団地があり、震災が発生した場合の避難場所に指定されている。加えて、「津波等の水害時における隣保協同に関する覚書」を結ぶ自治会もあり、公共住宅として積極的な役割を果たしている。よって、本区議会は政府に対して、下記事項の実施を求めるものである。(途中略しています)

記

1. 都市再生機構賃貸住宅を今後もまちづくりや防災面等で重要な役割を担う公共住宅として継続すること。
2. 都市再生機構賃貸住宅が「住宅セーフティネット」として位置づけられていることを十分考慮し、これまでの国会付帯決議等を踏まえ、居住者の居住の安定策を推進すること。

平成24年3月29日

衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・国土交通大臣 あて

やまびい

▼昨年の3・11震災から一年を経過したが復旧復興への道程は遠く、大変険しく感じられる昨今ですが、元氣と勇気をもらったのは、なでしこジャパン女子W杯サッカーの優勝でした。世界を鼓舞し団結する大きな力を大人はもとより青少年・子どもたちに夢と感動を与えました。若い女子スポーツ界の活躍はめざましいものがあります。国際バレエコンクールで優勝した菅井円加さん、W杯スキージャンプ優勝の高梨沙羅さん(15歳)、アジアジュニア選手権体操優勝芦川七瀬さん(15歳)、美人すぎるゴルフファアの齊藤愛璃さん等。

▼スポーツと頭は連動している話です。人間は140億もある脳細胞のうち、その三分の一しか使わないで終ってしまうそうです。頭は使えば使うだけ良くなります。そして睡眠。眠りは頭にとって最高の栄養源、規則正しい深い眠りが必要で、つぎに食生活。脂肪、蛋白質、ビタミンB類をふだんから取りたいものです。さらに運動。これが不足するとストレスばかりたまって、頭の回転が鈍くなるといわれています。

▼テレビ、パソコン、携帯とばかりにらめっことしていても、創造的発想は出てきません。外出して軽い運動をして汗をかくのも頭の切換えに役立ちます。

(嘉)

自治会40年をふりかえる

中島政幸会長に聞く



第5回

自治会の発展をめざして

話をよく聞くことから

41年目に入る自治会について、思われることはありますか。

自治会のマークは74年の9月に公募して決めたシンボルマークです。各家庭の扉に「6団マーク」が貼つてあります。

最近思うことは、少し年をとってきたせいでしょうか、「人の話をよく聞いてから」と思うことが、多くなった気がします。頑固になるのか、自分の意見を言うだけ言っけど、人の話は聞かないという傾向があるように思います。

会社をリタイアした人にもぜひ手伝ってほしいですねえ。

そうですね。そのときに、「人の話をよく聞く」ことが大事な気がします。会社で役員だったりとすると、その癖が抜けません。肩書きでモノを言うことは出来ないで、地域にもどつたら、肩書き抜きでつきあっていたらいいと思います。

「ろくだんカフェ」も。

東京都の事業で、自治会も高齢者の集まれる場所をつ

くりました。「ろくだんカフェ」として、土曜日に開いていますが、何人かの高齢者の方々と知り合いになりました。「サポートグループろくだん」の皆さんとも協力しながら、高齢者の方々にもたくさん手伝ってもらえるようにしたいと思っています。

サークルやPTAの方にも

団地には有能な方がたくさんいらっしゃいます。

PTAの皆さんには、子育てが、段落したら、こんどは町会や自治会でぜひ役員になってほしいと訴えています。

子ども会の役員の方から、「中島さんが言い続けてきていますが、町会役員になった人も出てきました」と言われて、無駄ではなかったと思っています。

団地には、PTAの会長や副会長の経験者もいます。PTA役員の方で、団地に住んでいる方にはぜひ自治会役員になって、協力をお願いしたいと思っています。

サークルの方も協力をしてください。

40周年記念の実行委員会には、若竹太鼓、タイガース、大島シックスの代表に加わっていただき、住民の集いは、こぼと幼児教室やひよっこ保育室、共同学童クラブの皆さんにも一緒に取り組んでいただきました。今後も、こうしたご協力をお願いして、一緒に良い団地をつくりたいと思っています。

ショッピングセンター

商店街も、40周年記念まつりでの抽選会や、お買物券で協力してくれましたねえ。

私たちは商店街の活性化を願っています。居住者が高齢化していますから、小口で売ってくれるとありがたいですねえ。商店街の皆さんも、ほとんどが一人か夫婦でやっていますし、かなり高齢化もしています。URでももっと活性化のための工夫があつてよいと思います。

知り合つことを大事にして

自治会を通じて、居住者が知り合いになることが大事なことだと思います。

そうですね。災害が起きた時も、声をかけあつて助け合うことが出来れば、いざば安心でしょう。

江東区の方から、津波が来た場合、地域住民が、団地上階に避難できるように、協定を結びたいと申し入れがあり、URと自治会が江東区との協定に調印しました。大津波の際には、とにかく避難優先で協力するのが当然だと思っています。

民間の会社・事務所は協力するようですが、マンションなどはオートロックで入れない、という問題もあるようです。

とにかく、知り合い、声かけあつていける団地にしたいと思っています。

広報活動について

広報についてはいかがですか。

全国の自治会から見ても、六丁目団地自治会の広報紙は立派だと思いますし、誇りにしています。

広報紙「みんなの会報」を見れば、自治会の取り組みがよく見えるので、新入居者も安心して自治会に入ってくれるのではないかと思います。

ホームページの更新もきちんとされていますし、たいへん立派だと思います。

5回にわたるインタビューをうかがい、40年にわたる自治会の活動と存在はとても大きいと実感しました。どうもありがとうございました。

東日本大震災を振り返る

昨年3月11日東日本大震災で被災された方、原発事故等の影響を受けた多くの皆様にお見舞い申し上げます。

当日自治会が取った対応やその後の対策を振り返りたいと思います。

当日は自治会役員の多くと連絡が取れず、仕事先からの帰宅が困難な状況で対策本部の設置が出来なかつた等の多くの反省がありました。また、団地内のエレベーターが止まるなど避難困難な状況がありました。災害協力隊の隊員の協力を得て、次の対策を行いました。

①3号棟集会所の開放
②希望者の四大小への誘導
③自治会による安否確認
④5号棟エレベーターホールに駐輪された自転車の移動。
⑤各緊急対策会議の開催
⑥義援金の拠出と義援金の募集。(合計70万円)
⑦各行事の中止の決定

今後とも当団地の防災対策委員会と共に地域の町会、自治体と一緒に協力して災害に強い六丁目団地にしていきたいと思います。

9月25日の総合防災訓練を開催し、発災型の訓練を実施。

大家との交渉では団地敷地内の危険箇所の修繕、放射能測定依頼を行いました。3月8日には江東区と大規模水害時の安心安全協定を締結。

個人では宮城県東の救援ボランティアに参加された方から活動の状況の連絡がありました。

ろくだんカフェ
月2回おこなっています

1月21日から第1と第3土曜日に午後1時から3時まで3号棟集会所でろくだんカフェを行っています。

東京都の支援によりテレビ、血圧計、コーヒーマシン等が入り、100円でコーヒー、お茶を飲みながら話しましょうということで始めました。ボランティアの方も来てくださり順調に進んでいます。皆さん遊びに来てください。



自治会活動日記

2012年1月

- 7日 幹事会
- 10日 1、3号棟屋上防水工事説明会
- 12日 大島地区5団体合同新年会
- 14日 第10回棟代表者会議
- 15日 大島六丁目団地自治会新年会
- 21日 ろくだんカフェ(第1回目)
- 22日 青空市例会
- 24日 特殊会社化・民営化は断固反対緊急国会要請集会2名参加
- 29日 第1回選挙管理委員会

2月

- 4日 ろくだんカフェ。幹事会
- 10日 東京23区自治協東・城北ブロック会議
- 11日 第11回棟代表者会議
- 12日 第2回選挙管理委員会
- 自治会棟代表者選挙告示
- 16日 バスツアー受付開始

- 18日 ろくだんカフェ
- 19日 東京23区自治協囲碁大会
- 20日 東京東管理センターとの打ち合わせ(松坂屋自転車ほか)
- 22日 東京東管理センター放射能測定実施
- 26日 第3回選挙管理委員会

3月

- 3日 ろくだんカフェ。幹事会
- 5日 広報部会
- 6日 まちづくり・南北交通対策特別委員への要請
- 8日 津波等の水害時における隣保共同に関する覚書を江東区と結ぶ
- 10日 第11回棟代表者会議・反省会
- 15日 まちづくり・南北交通対策特別委員会傍聴
- 17日 ろくだんカフェ
- 18日 青空市例会
- 25日 バスツアー
- 26日 広報部会

広告

日本総合住生活株式会社からのお知らせです。

会員様にはもれなくリフォーム・小修理でご利用いただける「JSリフォームサービス券」を進呈

JSrelief 会員募集中!

日本総合住生活株式会社では、創立50周年を記念して平成23年10月より団地にお住まいの方を対象として会員制サポートサービス「JSリリーフ」を開始しました。お申込み、お問い合わせは下記フリーダイヤル若しくは当社ホームページにて承っておりますので是非この機会にお申込み下さい。

なお、平成25年3月までにご入会された場合は、入会月から平成25年3月までの会費を無料とさせていただきます。

※平成25年4月より年会費1,260円(月額105円)を予定しております。

- ◎安心のお悩み無料相談 メンタルケア、健康・医療、防犯トラブル、パソコン操作、税金・年金等
- ◎安全な暮らしのサービス 家事代行サービス、介助支援サービス、ベビーシッター紹介等
- ◎快適な住まいのサービス 快適リフォーム、小修理、管球交換、ハウスクリーニング、家具移動等
- ◎うれしいご優待サービス 全国のホテル・旅館の宿泊券、レンタカーサービス、健康・美容等

JSリリーフお申込み・お問合せ フリーダイヤル 0120-746-123

今すぐお申込み下さい!! ホームページ www.js-relief.jp

日本総合住生活株式会社 東京支店 03-5653-2131